

やとみ

No.

12

議会だより

2009年
1月発行



輝け、平成世代

1/11 成人式(総合社会教育センター)

平成20年12月定例会

発行 ● 弥富市議会

編集 ● 議会広報編集特別委員会

〒498-8501 愛知県弥富市前ヶ須町南本田335

☎(0567) 65-1111 FAX(0567) 67-4011



年頭のごあいさつ



議会議長

黒宮 喜四美

新年明けましておめでとうございます。

市民の皆さまには健康で、希望に満ちた初春を迎えられましたこととお喜び申し上げます。

昨年中は議会活動に対し、格別のご理解とご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

アメリカのサブプライムローン問題に端を発した国際金融危機は、わが国の社会・経済にも大きな影響を与え、国・地方共に厳しい財政状況の中、より質の高い自治体運営が求められております。

そうした中、市においては地方分権時代に対応した行財政基盤の強化、CATVなど高度情報通信網の整備、桜小学校のマンモス化に伴う(仮称)第二桜小学校の建設などが急務となっております。さらに本年は、平成30年度を目標にした総合計画がスタートいたします。

市議会としましては、これら地域課題の解決に向けた市民と行政との協働のまちづくりに向け、懸命に取り組んでいく所存であります。

市民の皆さまには一層のご支援、ご鞭撻をお願い申し上げますとともに、ますますのご健勝、ご多幸を心からお祈り申し上げます、新年のあいさつといたします。

主な内容

- 定例会の審議内容
- 議案質疑・意見書…3～4
- 一般質問(13人)…5～17
- やとみフラッシュ…18

表紙の説明

成人式が1月11日、総合社会教育センターで行われ、最後の昭和生まれ初の平成生まれの485人が新たな門出を祝いました。二十歳になって選挙権を得るのを契機に、市政にも関心を持ってもらえればと思います。



ケーブルテレビ整備 関連補正予算可決

12月定例会

12月定例会を11月26日から12月19日までの会期で開きました。

市長から20年度の一般会計補正予算など13議案が、議員から意見書3議案が提出され、原案通り可決しました。

また監査委員の選任に同意しました。
一般質問には13人が登壇しました。

20年度一般会計 補正予算

十四山庁舎等整備工事請負費、情報通信基盤整備事業費補助金を含め、3億4、731万2、000円を追加補正するものです。

質疑(杉浦議員)

職員の給料の減額補正がされているが、19年12月議会で職員給与条例が改正され、地域手当が8%から3%に引き下げられた。

この時の市側の説明では、ラスパイレース指数（👉）を22年に向け、95に近づけたとのことだったが、その後の進捗状況は。

👉 国家公務員の給与を100とした場合の地方公務員の給与水準を指数で示したものの。

答弁(人事秘書課長)

19年のラスパイレース指数は89であったが、現在給与の適正化に取り組んでおり、ラスパイレースも改善されてきている。
今後給与の適正化に努めたい。

質疑(安井議員)

- (1) 学校給食費軽減補助金の内容と今後について。
- (2) 現在、経済の状況が大変深刻であり、家計が最も厳しい時を迎え、家計の負担も物価の高騰で大変厳しい。

市の負担を引き続き続けてもらい、21年度も保護者の負担を軽減することができないものか。

答弁(教育課長)

- (1) 20年4月以降の原油高に始まり、諸物価が高騰した影響で、学校給食の材料費も高騰して現在に至っている。

各現場では、給食メニューの調整・変更などで努力をしてきたが、これ以上の調整は困難な状況となっている。

学校給食材料費は、各保護者の負担で行うのが学校給食法にも記載されている。しかし、今回の諸物価高騰は年度の途中であり、今回限りの補助として補正をした。

- (2) 海部地域では現在、津島市をはじめ、補助をしていない市町もある。

現在のところは今回限りということで、理解してほしい。

採決

全員賛成で可決

監査委員

任期満了に伴い、後任者の選任に同意しました。

片岡 明氏

(61歳・鯛浦町)

意見書の提出

介護保険制度の抜本的改善と介護労働者の処遇改善を求める意見書

現在、介護を必要とする人が、いつでも、どこでも、お金の心配なく十分な介護サービスを利用できる介護保障制度を確立することが求められている。
また介護を支えるヘル

パーやケアマネジャーなど介護労働者は、仕事に見合った報酬や安全が保障されず退職者が後を絶たない。介護の仕事をした人も激減し、福祉・介護サービスに携わる労働者の確保が困難になっている。

介護事業者にとっても事業が続けられない事態に直面している。安心できるサービスの質と量を保障することが今ほど求められているときはない。

誰もが費用負担の心配無く、安心して介護が受けられるよう、次の項目を実施するよう要望する。

- ・介護報酬を引き上げること。
- ・介護保険の国庫負担を大幅に増やし、保険料や利用料を引き下げる。
- ・利用者の利用制限を取りやめ、必要なサービスを保障すること。

・介護労働者の処遇改善を図り、介護の人材を確保すること。

(衆議院・参議院議長、総

理・経済財政政策担当・財務・総務・厚生労働大臣に提出)

安心して子育てできる制度の確立を求める意見書

女性が生涯に産む子どもの数(Ⅱ合計特殊出生率)が1・36と前年より上がったものの、依然として少子化傾向が続いている。

その要因として劣悪な労働環境とともに、子どもを産み育てることにお金がかかり過ぎることが挙げられる。

妊産婦健診や高い出産費用は若い世帯にとって大きな負担である。

また16年に「児童福祉法」による保育所運営費国庫負担金について「等が一部改正され、保育所運営費国庫負担金は民間保育所のみが対象となり、公立保育所の国庫負担が削減され、母や自治体にいっそうの負担を強いるものになっている。

格差と貧困が広がる中、お金のある無しにかかわらず、安心して子どもを産み

育てられる社会を目指して子育て施策を拡充していくことは、国の責任である。

よって、次の項目を実施するよう要望する。

- ・小学校就学前の子どもを対象とした国の医療費無料制度を早期に創設すること。
- ・妊産婦健診の国庫負担を2分の1とすること。
- ・保育所運営費国庫負担金を民間保育所だけでなく、公立保育所も対象とすること。

- ・児童扶養手当の最大2分の1の削減を中止すること。
- ・就学援助への国の予算措置を復活し、増額すること。
- ・学校指定病に新たに喘息をはじめアレルギー疾患を加えること。

(衆議院・参議院議長、総理・経済財政政策担当・財務・総務・厚生労働大臣に提出)

不安定雇用の解消を求める意見書

非正規雇用者の処遇は、賃金や社会保険等の面で劣悪な状態に置かれ、ワーキ

ングブア増大の主な要因となっている。

このため労働への意欲や将来への希望が持てず、格差の拡大につながっている事例が少なくない。

このことは社会全体の活力を失うことになりかねず、若年世代においては、将来の生計の不安定化を招いている。

よって、次の項目を実施するよう要望する。

- ・大企業による大量解雇の中止、雇用を守る社会的責

任を果たすよう指導すること。

- ・失業対策を不安定雇用者も救済するよう抜本的に改善すること。
- ・一方的な内定取消しをやめさせること。
- ・正規雇用中心の雇用施策を強化し、労働者派遣法は1999年改正以前に戻すこと。

(衆議院・参議院議長、総理・財務・総務・厚生労働大臣に提出)

3月定例会の開催日程(予定)

3月2日(月)～23日(月)までの会期予定です。

3月2日(月)	本会議(議案説明等)
9日(月)	本会議(一般質問)
10日(火)	本会議(一般質問)
12日(木)	本会議(議案質疑)
13日(金)	建設経済委員会
16日(月)	厚生文教委員会
18日(水)	総務委員会
23日(月)	本会議(委員長報告・討論・採決)

※日程は変更になる場合もありますのでご了承ください。



安井光子 議員

十四山支所に開設予定の図書コーナーの内容は

問

図書館について尋ねる。

- (1) 休館日「」の火曜日を閉館してほしいがどうか。
- (2) 十四山支所に開設予定の図書コーナーの内容は。
- (3) 同支所図書コーナーの開館時間を延長できないか。
- (4) 小・中学校図書館の蔵書冊数は充足しているか。

 図書館の現在の運営は次の通りである。

▽開館時間 水・木・金曜日は午前9時～午後7時。土・日曜日は午前9時～午後5時。
▽休館日 ①月・火曜日(夏・冬休みは火曜日開館) ②祝日等

支所1階237㎡で4月に開設予定

答 図書館長

- (1) 21年4月から、火曜日・祝日等の開館を検討している。
- (2) 同支所1階約237㎡を利

用して、一般書等約4、800冊、雑誌約50誌、視聴覚資料約150点を所蔵。談話、視聴覚コーナーを設置し、開設は21年4月を予定。

火曜日から日曜日までの午前9時から午後5時までの開館を考えている。



「図書コーナー」の設置(写真左奥)が予定される十四山支所

答 教育課長

- (3) 本館は(平日)午後7時までやっているの、こちらへ来てもらうことを検討していきたい。

問

- (4) ほとんどの学校は国の基準に達している。達していない2校のうち1校は20年度中に、もう1校は計画的に増やしていきたい。

産後の産婦健診を、県下で4自治体を実施していると聞く。2回を市負担で実現してほしいがどうか。

答 健康推進課長

- 妊婦健診は、21年度から(2回の助成を追加し)7回(の無料化)を考えている。産婦健診は妊婦健診を優先しており、現在は考えていない。

十四山保育所の通所パス存続を

問

保育所について尋ねる。

- (1) 白鳥保育所の開所時刻午前8時を、7時30分にしてほしいがどうか。
- (2) 6カ月児から預かってほしい。なぜ8カ月からし

- か受け入れないのか。
- (3) 十四山保育所の通所パスは合併時、3年以内に見直すとなっていた。ぜひ続けてほしいがどうか。

3年をめぐりに継続する

答 児童課長

- (1) 次世代育成支援行動計画のアンケート実施を考慮しており、ニーズ等も調査し検討していきたい。
- 職員の勤務体制、保育所間の(開所時間の違い等の)条件整備等も考慮し、適切な運営に努めていきたい。
- (2) 家庭での育児が大切な時期であると思っている。基本的には現状の通り進めていきたい。
- (3) 検討した結果、3年をめぐりに継続することにした。弥富地区は実施していないので、市全体で不公平感が無いよう、将来的には(廃止等を含めて)検討しなければならぬと思っている。



大原 功 議員

中学校跡地の小学校建設 について聞く

問

弥富中学校跡地（＝平島町
地内の小学校建設）**【一】**に
ついて聞く。

9月議会で学校建設特別
委員会が設置されたが、市
側はどのように進めている
のか。

【一】 桜小学校マンモス化対策と
して、新校建設が検討され
ている事業。

測量等の作業中である

答 教育長

用地測量、ボーリング調
査を補正予算で発注し、現
在、測量等の作業中である。

各団体との視察に ついて

問

(1) 福寿会、商工会、民生
委員、教育委員会（の視察に
市長が随行すること）につ
いては公務で行っているの
か。

(2) 日当、公務災害につい
てはどうか。

(3) 市長が海外**【一】**へ行
ったが、参加メンバーは運
送会社が多く、伊勢湾岸の
市は弥富だけではないか。
費用が高過ぎるのではない
か。

【一】 鍋田ふ頭を含む名古屋港P
Rのため、同港利用促進使
節団の一員として、地中海・北ア
フリカ諸国へポートセールス（＝港
湾への各種誘致活動）に赴いた。

市の規定に基づき 実行している

答 市長

(1) 市の規定、前例等に基
づき実行している。

答 人事秘書課長

(2) 旅費の額は、公務のも
のは旅費条例、規則に基
づいて支払いをしている。

農業委員、教育委員の旅
行は、公務の取り扱いでな
いので、公費負担は無い。

民生委員会等、市の行政
機関や育成団体の旅行につ
いては、公務として条例に
基づき宿泊料、日当の旅費
を支出している。

また公務の場合は、公務
災害の取り扱いをしている。

(3) 日数等を勘案し、妥当
な範囲であると思う。

鍋田ふ頭、名古屋港をP
Rし、さらなる利用促進の
ために名古屋港のポート
セールスに参加することは、
港のPR、経済交流、人的
交流を一層図ることになり、
とても重要なことである。

下水は必ず接続しな ければならないか

問

公共下水（＝関連記事16
面）**【一】**について尋ねる。

(1) 下水になると既存の合
併浄化槽を外し、どうして
もつなげないといけないのか。

(2) つながないと法の処罰
罰金はどうなるのか。

速やかにつないで もらいたい

答 副市長

(1) 法で速やかにつなぐと
表現されており、その法を
遵守して指導していきたい。
(2) 法は、つなげないとい
けないと言っているが、罰
則規定はない。

問

定額給付金について、市
が暫定予算を組んで行う方
法はないか。

答 市長

（国において）基本的な実
施計画に対する細則が決
まっていない。

市としては前倒しをして
いくことはできない。



炭 竈 ふく代 議員

発達障害の早期発見のため 5歳児健診の推進を

問

発達障害【】の早期発見のための5歳児健診の導入、推進について聞く。

 行動や認知機能の遅れ等が低年齢で現れる脳機能障害で、広汎性発達障害（自閉症、アスペルガー症候群等）や注意欠陥多動性障害、学習障害等の総称。17年には発達障害者支援法が施行された。

(1) 市の乳幼児健診は3歳児後は就学時と、期間が開き過ぎである。
鳥取、栃木県では県内全市町村が5歳児健診を実施しており、鳥取県で9.3%の児童が発達障害の疑いがあると診断された。
しかし、こうした児童の半数以上は3歳児健診では問題は指摘されておらず、広汎性発達障害は5歳ぐらいで見つかることが多い。
5歳児健診を導入してほしいがどうか。

(2) 3歳児健診の内容
(3) 3歳児健診で発達障害が発見された場合の指導

健診事後教室で対応 現在考えていない

答 健康推進課長

(1) 3歳児健診で障害の兆候を見逃さないよう注意を払い、発見に努めている。
その後は保育所での日常生活や集団行動で気付く点等を保育士が保護者に伝えられている。
5歳児健診は現在考えていない。
(2) 総合的な健康診査を実施し、指導、相談を行っている。
スタッフは医師、

歯科医師、臨床発達心理士等の専門有資格者で行っている。

(3) 健診事後教室「わいわい教室【】」を実施している。その後、支援が必要な場合は同教室の延長や保健師による家庭訪問、母子通園施設のびのび園での指導や適応訓練を行っている。

 保健師、保育士、臨床発達心理士をスタッフとし、半年で12回実施。子どもの発育、発達を確認、問題点の変化を掌握し個々に合わせた支援を行う。

妊婦健診の完全無料化を

問

妊婦健診の完全無料化について、県内では(国)が望ましいとする(14回の助成を7市町村が実施しており、大府市では加えて産後健診1回も無料で受けられる。

国の動きに合わせて検討するならば、完全無料化になるまでの時期だけでも、第2、3子を出産する妊婦の健診を14回無料にしてはどうか。

21年度から7回に 増やす考えである

答 市長

21年度から(現在の)5回から7回という形で妊婦健診を受けてもらおうと考えている。
国の(妊婦健診関連)予算の成立を確認次第、いろんなことを考えていきたい。



▶現在実施されている3歳児健診



佐藤 高 清 議員

風化しつつある伊勢湾台風から50年 次世代にどう啓発していくのか

問

21年は伊勢湾台風から50年という節目にあたるが、次の事項を尋ねる。

(1) 市はどんな計画で、風化しつつある

台風を次の世代に啓発していくのか。

(2) (台風を特集した)昭和34年の県政ニュースのDVDや、国は40年の節目に記録冊子を配っている。ソフト面で後世に啓発しているだろうか。



県総合防災訓練を 6月に開催予定

答
防災安全課長

(1) 20年に50回忌法要が行われた。同台風殉難者遺族会解散に伴う区切りの年でもあり、今後は同台風殉難之塔(＝写真・操出地内)を保存し、市で管理していく。現在、木曾川グラウンドを会場とした県総合防災訓練を21年6月に実施することが内定している。

さらに従来のコミュニティー単位の訓練に代え、市主催の総合防災訓練を21年9月に実施する予定である。

答
市長

(2) 飛島村が記念行事「」をやっている。近隣市町村と検討し、いろんなことを精査していきたい。

飛島村、県、海部地域市町の共催で、同台風を振り返る事業。現在計画中である。

三ツ又池での市民活動 への支援は

問

三ツ又池地区()・関連記事11・14面」での市民活動に対する支援について聞く。

計画を立てた当時、池はせつげんの泡だらけで、何とか伊勢湾台風前のようにヨシが生えるよう復元できないかを議論した記憶がある。

事業の進む間、雑草(が目立つ)という問題が起き、環境が良くなったのか悪くなったのか分からない公園になった。

イメージが悪いということ、20年に地元の人ごみを拾い、除草作業をした。継続的にやるうと人が集まりつつある中で、市はどんな形で受け入れるのか。

十四山地区を流れる宝川の遊水池「三ツ又池」周辺(宝地内ほか)を、県が整備を行っている。

池を除く面積は約6.7ha、事業費は約29億円。20年度中に市が譲渡を受ける。

具体的な支援は今後の検討を要する

答
企画政策課長

総合計画のキーワードに、協働を用いて市民参画を促進する施策を進めることとしている。

具体的な支援は今後の検討を要するが、例えば意識醸成のための広報、イベント活動の推進、活動拠点施設の整備や運営方法の検討、相談窓口の充実、ボランティア、NPO、総合ネットワークづくり、情報提供などが考えられる。



三 宮 十五郎 議員

介護保険制度の改善を 求める

介護保険制度の見直しについて尋ねる。

(1) 弱者救済の立場をしっかりと確立させ、国の責任により保険料・利用料の減額や免除の制度を実現し、憲法に定められた最低生活の保障が与えられる制度への改善と、介護を必要とする人々が安心できる施設と人材を保障できる確かな仕組みにしたい。

そのためには国に対し、市長会や市議会議長会をはじめとする地方六団体とも協力して改善を強く要請し、その実現のために尽力してもらいたいがどうか。

(3) 市の保険料の減額や免除の制度(の要件)は、従来は所得激減ということだった。

恒常的に所得が低い人たちへの対応を、どの程度まで認めるかが大きな課題となると思われる。

現実に人としての尊厳を守るために必要な資産については、保有を認めていくという考え方で進めてほしいがどうか。

十分に現状を把握 する

答 市長

(1) 十分現状を把握しながら、また要望していきたい。

答 民生部長

(2) 倍率(＝所得による保険料の差)については、今後、

給付等を見込んで検討していきたい。

低所得者層の人に過度の負担にならないような配慮をしていく。

(3) 保険料の減免については、住民税、国保税と歩調を合わせ、収入基準を考えた形で結論を導き出していきたい。

公営住宅整備は放置 できない問題では

問

(市に無い)公営住宅について尋ねる。

(1) 住宅困窮者への手だては、命と安全を守ると同時に、地域防災の上でも欠かせない課題だと思いが、どう認識しているか。

(2) 収入が低いために住宅に入れないことが最大の問題である。

放置できない問題として本格的に検討に入る必要があると思いが、どう考えるか。

現状のところ 考えていない

答 市長

(1) 基本的には民間アパートの活用をお願いしていきたい。同時に、県に対してこういったことについての要望は常に働き掛けている。公営住宅については現状のところは考えていない。

(2) 教育、基盤整備など、やることが山積している。しっかりと優先順位を決め、その緊急性と計画性に基づいて諸般の事業を遂行していきたい。





佐藤 博 議員

農家負担の軽減のため 土地改良事業を尋ねる

問

土地改良事業の直轄化について尋ねる。

(1) 団体事務局の市編入を提言してきたが、その後の経過は。

(2) 農家負担

(3) 団体の人件費等で、農家負担が軽減されると思っている。

今後、(市に3つある)団体の一本化、または市の直轄事業とするよう検討してもらいたい。

農家負担の軽減になるよう進めたい

答 開発部長

(1) 農地は私的財産であり、直轄化は非常に困難と思う。土地改良区の取り扱いについては、関係機関と協議

していきたい。

(2) 経常賦課金は、10a当たり平均7、414円である。

(3) 少しでも農家負担の軽減につながる方向を見出しながら事を進めていきたい。

役所本庁舎の移転について

問

市が中心になり前ヶ須周辺の土地整備事業を実施したら、市街地整備もでき、国道155号もさらに南進し、庁舎の移転ができれば一石三鳥になるのではないかと。

答 市長

市役所の移転改築工事は、耐震性に優れていない庁舎であるので、防災上の拠点という点では早急に行なうことを考えながら対応していきたい。

問

不在危険家屋の調査が進んだようだが、ここを今後どうするのか。

答 総務部長

対象と思われる家屋が47件あった。修理や撤去は私有財産であり行政の介入には限度があるが、所有者に対し、安全かつ適正に管理してもらうよう呼び掛けていきたい。

問

津島市は、てんぷら油の回収事業をやるようである。

答 民生部長

津島市単独では回収が困難であるとの判断から、海部地区市町村の共同事業としてできないかとの提案が、先の海部郡町村長と市長の懇談会で取り上げられ、今後の検討課題とされた。



耐震性の懸念される市役所

いろんなことを考え 対応しないといけない



山本芳照 議員

北中の通学路を安全に
通学できるように改善してほしい

問

21年度以降、弥富北中学校で全員が自転車通学可能になる。安全に通学できるよう、次の事項を聞く。

(1) 白鳥小学校へ入る県道は、丁字路の3力所すべてに横断歩道がある。

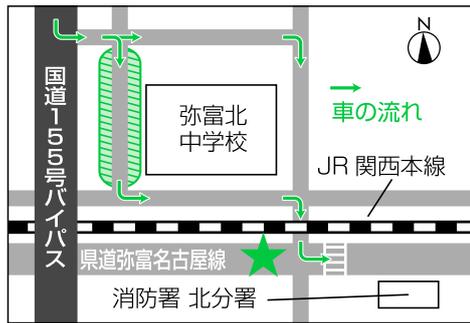
生徒の通学時に混雑する県道弥富名古屋線の横断歩道【Ⅱ下図・①】もそのようにつれないか。

① 国道155号の渋滞を避ける迂回車両は同校周辺を抜けて踏切を通り県道を左折する車が多く、生徒が渡る横断歩道と交錯している。

(2) 通学時間は学校西側の市道【Ⅱ下図斜線部分】を通行規制にしてはどうか。

警察に要望書を出す準備中である

答 教育部次長



(1) 蟹江警察署長に横断歩道を西側【Ⅱ右図☆】にも設置できないか、要望書を出す準備をしている。

(2) 蟹江警察署長に、学校西側市道を時間帯通行規制にする要望書を出す準備をしている。

また学校北側の市道は、21年度以降歩道が設置される予定である。

問

三ツ又池【Ⅱ関連記事】

14面】に、魚を捕る網が入っていたが、漁業権があるのか。

答 開発部長

無いと認識している。

基本的には撤去が望ましいと思っているが、過去の経緯等、一度よく調査・研究し、対応していきたい。

巡回バス検討委員会の会合内容は

問

巡回福祉バスの見直し【Ⅱ関連記事12・16面】について聞く。

(1) 巡回福祉バス検討委員会の今日までの会合内容

(2) 3月下旬から10月まで日曜日限定で、弥富・佐古木駅から三ツ又池地区や海南こどもの国へ行く直行バスを運行してはどうか。

(3) 委員、職員は一度バスに乗りし、実態調査をしてほしいがどうか。

バス運転手にも意見を求めてほしい。

アンケート調査が必要との意見が集約された

答 総務部長

(1) 委員数は16人である。10月に現状、今後の方向性を検討した。委員からさまざまな意見、要望をもらい、市民ニーズの把握のため、アンケート調査実施が必要との意見が集約された。

現在、先進地の事例を研究し、21年度に向け調査の予算化を含め準備を進めている。

千差万別な意見がある中、少し時間はかかるが後戻りの無いよう慎重に進め、市民の要望に添えていきたい。

(2) 貴重な意見として聞き、検討させてほしい。

答 市長

(3) いい提案をもらったので、実態調査を兼ねてバスを利用し、いろんなことを体験していきたい。

バス運転手は委員ではないが、会議に参加してもらっている。



山口 敏子 議員

巡回福祉バスを見直し、 もっと利用しやすくしてほしい

問

巡回福祉バスの見直し
【関連記事11・16面】につ
いて尋ねる。

(1) 朝夕、昼間と2通りの
路線をつくり、朝夕は通
勤・通学に、昼間は総合福
祉センター、病院、シヨッ
ピングセンター等に行く運
行してはどうか。

駅周辺の大渋滞が緩和さ
れ、CO₂の削減にもなる
と思うがどうか。

(2) 火曜日から土曜日まで
の運行を見直し、現在運休
している月曜日を早急に運
行できないか。

(3) ワンコインによる有料
化でもっと利用しやすいバ
スにするよう提案する。

運行時間も延長してはど
うか。夕方は早く終わり過
ぎるので、通勤・通学の足
としては利用されないダイ

ヤだと思つ。

長野県安曇野市はデマン
ド型交通【】で成功して
おり、飛島村では役場と海
南病院をタクシーでピスト
ン輸送する計画をしている。
また弥富高校のスクール
バスとの混乗を考えてはど
うか。

 電話等で予約した人の家や
指定する場所を順次回りな
がら、それぞれの目的地で降ろす
「乗り合いタクシー」方式の交通
システム。安曇野市では、1回大
人300円で市内どこでも乗降車
できる。

バス検討委員会で 審議してはく

答 総務部長

(1) 駅や病院、公共施設な
どを中心としたコミュニ
ティーバスへの移行も視野
に入れ、少し時間はかかる

が腰を据えて後戻りの無い
よう慎重に進め、市民の要
望に添えていきたい。

その中で通勤・通学、朝
夕の路線、昼間の病院等々
も検討させてもらう。

(2) 検討委員会で検討して
いきたい。

答 市長

(3) 巡回福
祉バス検討
委員会、

さまざまな
問題が浮き
彫りにされ、
数々の提案
をもらつて
いる。

一度委員
にも実際に
バスに乗っ
てもらい、

その問題点
を探ってい
こうと考え
ている。

コストの
問題もある
が、検討委
員会の中で

現在の4台から増車も検討
しなければならぬと思
う。

今しばらく検討委員会で
さまざまな問題について審
議していくので理解してほ
しい。有料化も視野に入れ
ていきたいと考えている。



巡回福祉バス



武田正樹 議員

水田の有効利用のため 新作物の検討を

問

水田の有効利用のための取り組みについて聞く。

(1) 20年度の水稻の作付面積と生産調整による麦、大豆等の作付面積

(2) 市は減反政策にかなり協力している。その反面、食料自給率は日本全国でかなり不足している部分があると思う。

新作物を検討する県水田活用新作物研究会【**く**】が発足し、栽培試験を行っているが聞いたが、どんな試験なのか。

く 地球温暖化対策、遊休農地の有効活用等を目的として県、JA愛知中央会、JAあいち経済連が組織、非食用加工米を原料とするバイオエタノール製造試験、飼料米の2期作実験等を実施している。19年設立。

(3) 19年度の国の統計では、水田経営農家の所得は全国平均37万円しかない。

岐阜県でよく作られている晩成種米ハツシモは、収穫後に麦の作付けが可能と考える。食料自給率アップと少しでも所得が上がると考えるがどうか。

県研究会が燃料米 や2期作を研究中

答 農政課長

(1) 市水田農業構造改革による(水稻の)作付面積は109,536a、作付面積率は95・35%で目標に達している。

また生産調整実施面積は52,788a(麦大豆が31,959a)で、達成率は101・6%である。

(2) 同研究会が、19年度に市(鍋田町地内)で多収量米品種のハバタキ、西尾市

でタカナリのバイオエタノール原料米の栽培試験を実施した。コシヒカリと比較して約2割の増収があったと聞いている。

また県農業総合試験場でもエタノール製造に対し、米の調査や生産技術開発等を行っている。

(同研究会は)20年には飼料用品種米として、市(鍋田町地内)では

夢あおば、西尾市ではホシアオバの栽培試験と夢あおばによる2期作の栽培試験を行っている。

市においてもこの結果を見定め、生産調整対策、耕作放棄地の解消のため、今後JA等と連携を図りながら検討していき

たい。

(3) 主食用米のハツシモはJA等の出荷が現在

されていない。一つの案として生産コストを含め検討させてほしい。

農地の有効活用として二毛作を考えると、冬場は作物の種類と量は少なくなるが、農家の経営安定を目的とした品種を考え、生産が上がるものを検討していきたい。



▶バイオエタノールの原料となる
米の収穫(鍋田町地内)



伊藤正信 議員

宅地開発行為の排水 同意書の目的は

問

宅地開発行為に関する要綱で、合併処理浄化槽等を設置する場合、放流について地元水利団体等の同意を得るとあるが、その目的、具体的な説明を願いたい。また地元水利団体とはどのような団体を指すのか。

良区等である。

今後、公共下水が進めば放流先の同意は不要になる。進捗を見極め、要綱の見直しと関係地域に働き掛けをしたい。

問

(1) 小・中学校でいじめ、携帯電話やパソコンを使ったネット攻撃はあったのか。
(2) その問題解決のためにどう対策したか。

答 教育長

(1) いじめは19年度、小学校18件、中学校2件、暴力行為は1件であった。
携帯電話やメール等のいじめは20年度2件である。

(2) 各校でいじめ・不登校に関し毎学期、アンケートを実施し、問題が分かり次第指導を行っている。
携帯等のひぼう中傷に関して、県警や携帯電話会社

答 都市計画課長
公共用水域の水質汚濁の防止、生活環境の保全を目的とし、水利権者、近隣住民等から放流についての同意を得るよう、浄化槽等の設置者に依頼している。
団体については、それぞれの地域の自治会、土地改

に講話を依頼している。

三ツ又は自然環境保全 地域を自指してほしい

問

三ツ又池地区【11】関連記事8・11面について聞く。

(1) 管理のあり方
(2) 三ツ又池はCOP10【10】の役割である生物の共生、そういう公園に等しい公園である。
(国・県が指定する)自然環境保全地域になるよう行動すれば、観光資源開発、環境教育の現場にもなるがどうか。

生物多様性の保全と各種の国際的な枠組みを策定するため、国際条約の締約国が集まって開催する会議。22年に名古屋市で開催される。



整備の進む三ツ又池地区

答 開発部長

(1) 管理は三ツ又池管理運営協議会、これは行政と土地改良が行うことになる。

答 市長

(2) エコロジー、生態系の

話し合い、勉強を しよう

維持には相当な知識、技術が必要と思う。話し合いをし、また勉強もしていかならなければならない。

過日、COP10に市として参加できないかを県と話し合いをした。これを進めていきたい。



三浦 義美 議員

同報無線の設置に地主の同意を得ているのか

問 同報無線【1】の設置について尋ねる。

市内90カ所のスピーカーで防災情報等を放送する設備。19・20年度事業で、1月から市全域で運用している。

(1) 弥富北中学校駐車場は民地で、地主の了解無く建ったがどうなのか。
(2) 借りたら話をすることが一番大事だと思う。今後どう対策するのか。

役所内の連携が不十分だった

答 防災安全課長

(1) 役所内の連携が不十分だったことをお詫びする。

土地を借りている教育委員会に建ててよいかを申請し、それで邪魔にならない所を選定した。

答 総務部長

(2) 今後は徹底して十分な精査をし、事業を展開していきたい。

白鳥ロミの非常階段に屋根の設置を

問

児童クラブの児童が使用する白鳥ロミコミュニティセンター東側非常階段に屋根が無いが、設置予定はあるのか。

正面玄関から出入りするよう準備中

答 児童課長

検討した結果、(休館日を除き)正面玄関を利用するよう準備している。

新春交歓会の個別案内は不要では

問

新春交歓会について聞く。

(1) (開催日)の21年1月5日は仕事始めの日で、公職者は休んで来る問題がある。なぜ(日曜日)の1月4日にやらないのか。
(2) 公職者へ案内状を出さず、広報での案内でどうか。一々案内を出す、それも経費ではないか。
(3) 新春ではなく4月初旬に、新役員が幅広く出席できる日程に組んだらどうか。

公職者等の交流のため案内している

答 副市長

(1) 基本的に、仕事始めの日に予定させてほしい。



▶1月5日に開催された新春交歓会(総合社会教育センター)

い公職関係者の交流の場にもなるので、そのようにしている。

(3) 区長は、3、4月に(会議で)集まっている。

年賀のあいさつは古き昔からの流れがあり、関係者が正月に訪れることの簡素化と合理化である。

(2) 年賀のあいさつは区長等、行政とつながりの深い人が訪れる例が多い。行政との交流のみならず、幅広



杉 浦 敏 議員

22年度から始まる公共下水道事業の 財政負担をどう考えているか

問

公共下水道事業（「関連記事6面」）について尋ねる。

- (1) 22年度から供用される第1期区域
- (2) 第2期以降の計画
- (3) （使用料収入で）採算が取れず、多くの財政負担が必要となるが、どう考えているか。
- (4) 市民の理解が進んでいないと感じるが、どう考えているか。

公営企業的な経営 重視の運営をしたい

答 下水道課長

(1) 市の計画面積852haのうち約130haである。ほぼ全域となるのが平島、一部区域となるのが鎌島、操出、三稲、稲狐を予定している。

- (2) 供用開始地区の周辺を、年間約20ha整備を進める計画である。



整備の進む下水道工事（平島地内）

- (3) 下水道は多大な費用がかかることを十分考慮し、使用料金等の設定を考えている。

今後、公営企業的、経営観念を重視した運営を心掛けていこうと考えている。

答 市長

- (4) 接続地域で地元説明会を繰り返し行っている。説明会を重ねつつ、広報等を利用しPRしていきたい。

バス見直しは無料を 目標にしてほしい

問

巡回福祉バスの見直し（「関連記事11・12面」）について尋ねる。

- (1) アンケートをすると聞いたが、具体的な方法は。
- (2) 有料化の話もあるが、できれば一律無料を目標にし、とりわけ高齢者、子ども、障害者は原則無料にすべきと考えるがどうか。

十分論議していきたい

答 総務部長

- (1) 約1,000人を対象にした住民意向調査、駅や病院等公共施設の回収ボックスによる調査、バス利用

- 者にアンケートをとってきたい。
- (2) 有料、無料の問題は、十分論議をしていきたい。

福祉タクシー助成 の金額上乘せを

問

障害者福祉タクシーについて、病院等の遠距離に住む人に、金額の上乗せをしてほしいがどうか。

21年度から対象を 拡大したい

答 福祉課長

心身障害者の場合、中型タクシー利用時に60円を助成する利用券を年間36枚交付している。

現在、身体障害者手帳と療育手帳の交付を受けた人を対象としているが、21年度からは精神障害者保健福祉手帳交付の人も対象とするよう、準備を進めている。



堀岡 敏喜 議員

使用済み携帯電話のリサイクル ボックスを設置してはどうか

問

携帯電話には金、銀、銅等のレアメタルが含まれ、貴重な資源として期待されている。

使用済み端末の回収は、19年度で13%程度だった。リサイクルの認知度が低いことが原因の一つになっているのではないかと。

東京都では試験的に役所に回収ボックスを設置し、PRを行っている。市でも設置してはどうか。



モバイル・リサイクル・ネットワーク
携帯電話・PHSのリサイクルにご協力を。

▶(社)電気通信事業者協会のPPRマーク

東京都の試みを 注目していきたい

答 環境課長

東京都の試みは現段階では未知数だが、注目していきたい。引き続き広報等で携帯電話のみならず3Rを呼び掛けていきたい。

市の中小企業支援 策は

問

国は中小企業の資金調達を支援するため、緊急保証制度を20年10月末にスタートさせた。

責任共有制度【1】の対象外とする保証や、一定期間を無利子とする利子補給制度に取り組む自治体も多

くあるが、市の支援策を尋ねる。

従来、信用保証協会が保証する融資は100%が信用保証されていたが、19年10月から同協会80%、金融機関20%の割合で融資金額の回収リスクを共有している。

融資の保証料補助 を行っている

答 商工労政課長

商工業振興資金の信用保証料の一部を、小規模企業資金70%、通常資金30%、限度額30万円助成している。なお、小規模企業資金は責任共有制度の対象外で、信用保証協会の100%保証である。

商工業振興資金は大幅に融資実績が落ち込んでいるが、引き続き利用に向け周知を図っていきたい。商工会では日本政策金融公庫による一日公庫(II)公庫担当者が可能な限り開催会場で融資決定を行う制度(の開催や、小規模事業者

定額給付金の通知に 寄付の項目追加を

問

定額給付金について尋ねる。

(1) 準備作業に万全を尽くしてほしいがどうか。
(2) 通知書に「辞退」、「受領」の選択支を入れると聞いたが、ふるさと納税の項目を加えることは可能か。

国から詳細が示されていない

答 市長

(1) 市の総額は6億6、000万円になる。企画政策課が窓口となって対応していきたい。

答 総務部長

(2) (国から)詳細が示されていないので、十分これも検討していきたい。

カメラスケッチ やとみ フラッシュ!

信号守って手を挙げて

平島町南広畑の交差点で12月1日、信号機の点灯式が行われました。

桜保育所児や地元住民ら約80人が参加。警察官の制服を着た所児らは、早速信号機に従って元気に横断歩道を渡っていました。



うまく書けたかな

書き初め習字教室が12月24日から3日間、高齢者生きがいセンターと十四山総合福祉センターで行われました。

シルバー人材センターが主催。参加した約30人の小中学生は、講師の指導を受けながら、冬休みの宿題の書き初めを一生懸命練習していました。

赤、鮮やか

種類の豊富さと売上高日本一を誇る弥富金魚の初市が1月14日、東海鑑賞魚卸売市場で行われました。

卸売業者は、流れて来る金魚を瞬時に品定め。市場独特の符牒（ふちょう）を用いた掛け声で値を付けながら、金魚を次々に競り落としていました。

